

平成29年度 学校経営方針

篠山市立今田中学校

【校訓】

鍛えよう・考えよう・手をつなぎあおう

【学校教育目標】

主体的に学び 自己実現に向かう ころ豊かな生徒の育成

～ 「学ぶ姿勢」 「学ぶ喜び」 「学ぶ意欲」 ～

「主体的に学ぶ」とは

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組む、自らの学習活動を振り返り次につなげるなど「学びに向かう態度」を持つこと。

「自己実現」とは

目標や夢を持ち、その実現に向けて具体的に努力することによって、自らの幸福な人生を創り出していくための力や態度を身につけること。社会的・職業的自立に向かう意欲を持つこと

「ころ豊か」とは

失敗を恐れずにチャレンジする心、困難なことにもくじけない強い心、他者とコミュニケーションをとりながら、互いの良さを生かして協働する心を持つこと。

【学校経営の基本方針】 ～全ては「信頼関係」から～

生徒・保護者・地域との信頼関係、さらに教職員相互の信頼関係があって、はじめて学校教育目標は実現できる。その信頼関係は相手への「尊敬」「対話」「行動」によって築かれる。

①篠山市教育大綱、篠山きらめき教育プランに基づいた教育活動を推進する。

大綱の基本方針「ふるさと教育」「地域に開かれた学校」「学力の確立と向上」「スポーツに親しむ」「篠山の文化を育む」「あいさつと生活習慣」を意識し、全ての教育活動の中で実践する。

②地域や保護者と連携しながら、事故やけがのない安全な学校づくりを進める。

地域住民や保護者の協力体制を確立するとともに、教職員の登下校指導、安全点検を徹底する。また、授業や訓練を通じて、「自分の身は自分で守る」という意識と能力を培う。

③組織的できめ細やかな生徒指導体制を確立し、いじめや不登校のない学校づくりを推進する。

全ての生徒を全ての教職員で育成するため、情報交換を密にしながら、組織的な生徒指導（共通理解・共通実践）を徹底する。また、ノート指導や教育相談により、人間的なふれあいに基づく、生徒の心に寄り添う生徒指導を進める。

④「わかる授業」「達成感のある授業」を展開し、学ぶ喜びが味わえる学校づくりを進める。

全ての教科で「書く活動」「話し合う活動」を積極的に取り入れ、思考力・判断力・表現力、コミュニケーション能力を育成する。また、基礎・基本の力を伸ばすために、家庭学習の課題を工夫するとともに、予習や復習の仕方など個々の生徒に適した学習方法を徹底指導する。

⑤篠山の自然・文化・人を活用したふるさと教育に積極的に取り組むことによって、地域に誇りを持ち、貢献しようとする意欲を育む。

篠山の自然・文化・人に学ぶことによって、郷土への愛情と誇りを育む。また、コミュニティスクール事業を通して、地域とともにある学校づくりを推進し、教職員も地域住民の一人として、地域を知り、人とのつながりを大切にしながら教育活動にあたる。

【目指す生徒像】

「学ぶ姿勢」「学ぶ喜び」「学ぶ意欲」を持つ生徒 ～知・徳・体の全領域で～

「学ぶ姿勢」

授業を大切にし、当たり前のことが当たり前にできる生徒（授業規律・あいさつ・清掃・時間）

「学ぶ喜び」

学びの中で自分の成長を実感し、互いに意見や考えを出し合い、ともに伸びようとする生徒

「学ぶ意欲」

目標や夢を持ち、その実現に向けて具体的な努力ができる生徒

【目指す学校像】 「あたたかい学校」

あ…あいさつが行き交う（自分から）

た…たいせつにする（人・友・物）

た…たかめ合う（自分の力・集団の力）

か…かのうせいを広げる（自分・集団）

い…「生きる力」の育成を図る（確かな学力・豊かな心・健やかな体）

- すべての生徒が「学ぶ喜び」を実感し、いきいきと活動する学校
- 生徒の健康や安全を守り、危機に的確に対応できる学校
- 保護者や地域に信頼され、家庭や地域と協力して生徒を育てる学校

【目指す教職員像】 「楽しく 厳しく さわやかに」

- 情熱と愛情を持ち、率先垂範し、自らの信念を生徒に一生懸命語れる教職員
- 教育のプロとしての誇りを持ち、自らの資質や能力を高めようとする教職員
- 来校者に対して、礼儀正しくさわやかな接遇ができる教職員
- 軽快なフットワークで地域へ出向き、地域の方々に顔を覚えられる教職員
- 自らの視野を広げ、人間力を高めるために、新たな課題に挑戦する姿勢を持つ教職員

【本年度の重点目標】

- ①いじめを絶対に許さないという確固たる方針のもと、生徒の心に寄り添った組織的な生徒指導を進め、全ての生徒がいきいきと生活できる仲間づくりを進める。
（定期的なアンケート、教育相談、ノート指導、校内巡視等で、サインを見逃さない。）
- ②課題を持つ生徒に対して個に応じた適切な指導・支援ができる特別支援教育を充実する。
（個々の教育的ニーズを把握し、全職員で共通理解しながら共通実践を進める。）
- ③コミュニティスクール事業を核に、職員・保護者・地域住民が丁寧にコミュニケーションをとりながら、地域とともにある今田中学校の教育を推進する。
（学校運営協議会が中心となり、学校運営への地域住民の理解・協力が促進される仕組みづくりを進める。）
- ④「書く活動」「話し合う活動」を積極的に取り入れた授業を展開し、活用する力を伸ばす。また個々の生徒の特性に合った家庭学習の方法をきめ細かく指導することにより、基礎・基本の力を伸ばす。授業改善により思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力を育成する。）
- ⑤「特別の教科 道徳」の研究を継続し、豊かな心を育て、道徳的判断力・実践力を培う。
（平成31年度の道徳の教科化を見すえ、今田スタイルを確立する。）
- ⑥今田小学校との小中連携を強化し、義務教育9年間の成長を見通した教育を展開する。
（情報交換、授業参観、共同研究を積極的に行うことによって、教職員が子どもの発達過程を理解するとともに、広い視野を持ちながら協力して「今田の子ども」を育成する。）